

傘

長谷川時雨

青空文庫

秋雨のうすく降る夕方だった。格子戸の鈴が、妙な音に、つぶれて響いてゐるので、私はペンをおいて立つた。

臺所では、お米を磨い^とでゐる女中が、はやり唄をうたつて夢中だ。湯殿では、ザアザア水音をさせて、箒をつかひながら、これも元氣な聲で、まけずに郷土^{くに}の唄をうたつてゐる。私は細目に、玄關の障子をあけてみた。

「冬子は見えてをりませうか？」

洋服で、骨の折れた傘を、半開きに、かしげてゐた。

「戸澤ですが——」

と、中年の、小柄な男は、小腰をかがめて上眼づかひにいった。

「冬子が、あがつてゐないとなると、大變なことになりました」
私は格子をあけて、その人を迎へ入れなければならなかつた。

「大變なことと、おつしやると——」

「あれは、死んでゐます」

これは變だと、さう聞いた刹那に思つた。だが、その人は、眞劍で、青白い顔に、オドオドした大きな眼が、うつろで、まぶちの赤いのが目立つてゐた。

「時間からいふと、今ごろは——」

彼は唇を噛むやうにしてうつむいた。立つたままでも聞いてゐられないので、あがつてもらふと、彼はいひつづけた。

「つまらないことで別れてゐて、けふ歸つて見ると、家の中の様

子が變つてゐるのです」

「變つてゐるといふと？」

「彼女あれは、もう、二度と、あの家へは歸らないつもりなのです。

僕は——」

と、顔を赤くしてどもつたが、

「あの女ひとなしには、實際、今、ゐられないのですが——」

伏せた眼はうるましてゐる。別段、書置きも何もないが、壁にかけてあつた彼女の古い雨外套のカクシを探ると、ある男へやる、打合せの手紙の書きかけが丸めて入れてあつて、それを読み解くと、冬子は、けふの丁度いまごろの時間に、函館海峡で、投身自殺をしてゐるのだ。

「僕が悪いのです。僕が、あのひと彼女を苦しめるものだから——だが、僕は堪らないのです。冬子を選んだ相手が、ニヒリストの、あの詩人であるなら、まだ耐へることが出来るが、僕の——僕の先輩、日本でたつた一人の先覺者、アナキズムの、大學者の×氏を、僕があるために、空しく海峽の藻屑としてしまふのは忍びない、そのくらゐならば、僕が死んであげる——」

その人は歔歔したが、私は吃驚した。

「心中なのですか？」

ときくと、冬子の夫はコツクリした。

「誰と？」

「それが、わからないから、堪らんのです。ニヒリスト詩人なん

ぞなら、彼一人死ぬがいいのです。だが、×氏なら惜しい、實に、實に惜しい、死なせたくないのだ。」

彼はいふ。冬子とニヒリスト詩人とが、お互に變名して、手紙を託しあつてゐる古本屋へ、ニヒリスト詩人が、きのふの朝か、をととひ、冬子の手紙をとりに来たか、または冬子に手紙を渡したか、それを電話で、こちらから問合せてくれれば、けふ、函館海峡で命を落したのは、冬子と誰とだかがわかるのだと。

これは困つたことだと、私は思つた。どんな氣持で、冬子がそんな手紙の書きかけを、古外套のカクシなどに入れておいたのであらう。そのニヒリスト詩人と彼がいふ詩人も、私は知つてゐる。なるほど、さうした對手を求めるとやうな、熱烈な、死と愛の詩は

發表してゐるが、しかし、冬子とどんな關係があるのだらう。しかもきのふは、冬子が帝展をゆつくりみてゐた姿を、見て來たものがあつたのだ。

そんなことはおくびにもいへない。彼女の夫は、熱心に電話帳を繰つてゐる。

と、門の潜戸があいて、敷石を踏んでくるツツシリした靴の音は、彼女のものだつた。私は、口のうちであつといつて、そこで、物凄い争闘が起らなければいいがと、逞しい彼女の腕を、目に見た瞬間、いとも朗らかに、彼女は叫んだ。

「あら、來てゐるの？」

彼は、上衣のポケットへ兩手をつっぱらして、そして、毛絲の

セーターの濡れてゐる、彼の妻を見詰めた。

「厭だわ、なんだつて、來たの」

「なんだつてつて、僕は、何もかも申上げちやつた」

「あらま、呆れた」

彼女が睨んで、笑ふと、かねて彼女からよく聞かされてゐる、英雄であるはずの彼は、従順にはいかんで、連れ立つて、一つ傘で歸つていった。

（「大阪毎日新聞」昭和九年十二月）

青空文庫情報

底本：「桃」中央公論社

1939（昭和14）年2月10日発行

初出：「大阪毎日新聞」

1934（昭和9）年12月

入力：門田裕志

校正：仙酔ゑびす

2009年1月17日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

w.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

傘
長谷川時雨

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>